

## 総合計画審議会から二階堂市長へ答申が行われました。

令和5年8月から計3回に渡り新発田市まちづくり総合計画審議会が開催され、まちづくり総合計画基本構想について審議を重ねてきました。

そして、令和5年10月11日(水曜日)に市長室において、植田会長、岸本副会長から二階堂市長へ基本構想についての答申が行われました。



令和5年10月11日

新発田市長 二階堂 馨 様

新発田市まちづくり総合計画審議会  
会 長 植 田 穰

新発田市まちづくり総合計画基本構想（案）について（答申）

令和5年8月24日付けみらい第746号で、本審議会に諮問された新発田市まちづくり総合計画基本構想（案）について慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり答申します。

#### 記

新発田市まちづくり総合計画（令和6年度～令和13年度）基本構想（案）については、今後、当市が目指す将来都市像の実現に向けた方針や目標が明示されており、概ね妥当であると判断します。

- 1 安心・安全なまちであることを大前提として、市民一人ひとりがその人らしく、寿命を全うするまで健康で幸せに暮らせる、住んでいて満足する、幸福な気持ちになれる「ウェルビーイング」の視点を持って全施策を推進されるよう要望します。
- 2 まちづくり総合計画の進行管理においては、取組内容を優先度に基づいて簡潔明瞭に市民に示すとともに、実施した施策や事業の効果検証を行い、計画に従って着実に取り組まれるよう要望します。
- 3 将来都市像及び各基本目標を達成するために、実効性の高い施策を展開し、特に、デジタル田園都市国家構想の実現に向けて、単独の施策ではなく、分野横断的な連携により、戦略的に事業が実行されるよう要望します。